

自転車ステーション（ノイス市、ドイツ）

ノルトライン・ヴェストファーレン州（NRW 州）では、環境負荷の低い交通手段ネットワークの強化、自転車交通の促進および駅の美化プログラムとして、「NRW 州における 100 ヶ所の自転車ステーション計画」を 1995 年より実施している。今回、デュッセルドルフ市に隣接するノイス市の自転車ステーションを訪問したので紹介する。

ノイスの自転車ステーションは中央駅に隣接しており、2003 年 5 月に駐輪台数 559 台で開設され非営利団体によって運営されている。駅のホームと直結しており、利用者は駐輪場の専用出入口からホームに出ることができる。ゲートは自動化され、回転バーの速度はコンピュータにより制御されている。駐輪設備は、2 段の自転車ラックで、駅階下の空きスペースを活用しているため、細長く入り組んでいる部分もある。また、荷物を預けるロッカーや洗車場も用意されている。

同ステーションは、月曜日から金曜日の 6:00~22:30、土曜日 8:00~22:00、日曜日 9:00~22:00 の間は有人であるが、それ以外の無人の時間帯は、委託を受けた警備会社が設置されている 12 台のモニターカメラで監視を行い駐輪場内のセキュリティー管理を行っている。こうした管理体制が功を奏し、女性の利用者が多く総利用者の 60%は女性である。

利用料は、1日 70 セント、1ヶ月 7 ユーロ、1年なら 70 ユーロである。



ステーション全景



専用出入り口

修理場は同時に 6 台の修理に対応できるよう、作業台、工具が用意され、スタッフが待機している。工具類も整頓され、スペアパーツも充実しており、中でもタイヤは数種類揃えられていた。修理例として紹介された MTB は、フロントタイヤをハブダイナモ付の新品に交換して 100 ユーロ強の代金であった。もちろん当事者間で相談、納得の上での修理である。パンクやブレーキ修理など応急措置だけではなく、幅広い修理に対応できるようになっており、近郊の自転車小売店と業務が競合することはないのかと余計な心配もした。ここには修理や受付等、10 数名の従業員がおり、NRW 州が計画しているとおり、この場が雇用や職業訓練の場としての役割も果たしている。



整備場



スペアタイヤ

レンタサイクルは外装変速付が10台、シティ車が10台程用意されていた。レンタル料は1日5ユーロである。ノイス市は工場が多い町であり、平日、仕事で借りる人が多いという話であった。ここは土曜のみならず日曜日にも営業しており、利用者にとって利便性が高い。同州には現在、52箇所の自転車ステーションが設置されている。日本では地方自治体が駅前放置自転車対策に頭を悩まし、対策に多額の費用を投じている現状と比較すると、国による事情が違うとはいえ地域住民への「サービス」に対する考え方の差に驚くばかりである。

参考資料：Fahrradstationen in NRW - eine Idee wird Programm. (NRW州発行)



レンタサイクル



修理済の自転車

(デュッセルドルフ事務所)